

資料 1

## 令和 5 年度 鶴嶺東地区合同防災訓練計画概要

令和 5 年 7 月 1 5 日

鶴嶺東地区まちぢから協議会 防災減災部会

### 1. 概要

本計画書は、令和 5 年度鶴嶺東地区合同防災訓練計画の概要を記載したものである。

### 2. 開催日程

令和 5 年 1 1 月 5 日（日）午前

### 3. 主催と協力組織

#### 1) 主催

主催は鶴嶺東地区まちぢから協議会所属の全自治会（9 自治会）とする。

円蔵自治会、矢畑自治会、西久保自治会、浜之郷自治会、下町屋自治会、T B S 自治会、サニータウン自治会、ホームタウン自治会、ザ・アイランズ自治会

#### 2) 協力組織

①避難所運営に関する指導：茅ヶ崎市防災対策課

②訓練会場提供：当地区の学校（避難所、4 項参照）

③救助・搬送・応急手当等個別訓練指導：茅ヶ崎市消防団

### 4. 会場

#### 1) 第一部

各自治会による設定場所

#### 2) 第二部

次の避難所（全 7 小中学校）

鶴嶺中学校、鶴嶺小学校、浜之郷小学校、円蔵中学校、円蔵小学校、鶴が台中学校、鶴が台小学校

### 5. 課題

①防災訓練への参加率の伸び悩みがあり、さらなる防災意識の向上が求められる。特に若い世代の参加者が少ない。

②令和元年の台風 1 9 号通過の際の避難所運営で不十分な点が多々あった。

### 6. 訓練の対象者

①地域住民

②防災関係者（市配備職員、学校関係者、自主防災組織）

### 7. 訓練の目的

#### 1) 地域住民

住民一人ひとりの防災意識を向上させ、「自助」「共助」の推進につなげる。

#### 2) 防災関係者

災害発生時における防災組織による活動機能を促進する。

### 8. 訓練の種別

つぎのとおり 2 部構成とする。

#### 1) 第一部・・・各自治会単独による活動型訓練

大規模地震発生を想定し、災害時に想定される活動の一連の流れを体験し、必要な体制等を検証する。

2) 第二部・・・鶴嶺東地区合同による活動型訓練・個別訓練

- ①地域住民が、避難所への避難を体験する。
- ②防災関係者が、避難所開設から初期の運営までの一連の流れを体験する。市、学校との連携活動も体験する。
- ③救助・救出方法や被災者搬送方法等について個々に学び、知識や技術を習得する。

9. 想定する災害

大規模地震（首都直下地震、南海トラフ地震等の震度7）

10. 訓練内容

1) 第一部・・・各自治会単独による訓練

大規模地震発生を想定し、災害発生時の初動、安否確認、安否確認集計、情報伝達等、災害時に想定される活動の一連の流れを体験し、必要な体制等を検証する。

- ①地域住民の安否確認訓練・・・各自治会にて企画
- ②災害情報伝達訓練・・・各自治会防災対策本部から避難所の連絡員にトランシーバーを用いて安否確認結果を伝え、それを市配備職員に伝える。

2) 第二部・・・合同訓練

- ①地域住民の避難所への避難訓練・・・地域住民  
地域住民は安全な経路を意識して所定の避難所へ移動し、避難所で受付、待機場所へ移動まで行う。
- ②避難所開設・運営訓練・・・防災関係者（市配備職員、学校関係者、自主防災組織）  
防災関係者は避難所へ参集し、施設の安全点検、受付・待機場所の設置等開設準備を行い、避難者来場の際は受け付けにて名簿を作成し、待機場所へ誘導する。

会場	鶴嶺中学校	鶴嶺小学校	浜之郷小学校	円蔵中学校	円蔵小学校	鶴が台中学校	鶴が台小学校
担当自治会	矢畑	浜之郷	西久保	円蔵	円蔵	円蔵	円蔵

③災害情報伝達訓練・・・各自治会防災関係者

安否確認情報について、トランシーバーを用いて各自治会防災対策本から避難所の連絡員に情報を伝え、その内容を市配備職員に伝える。(自治会ごと)

・トランシーバーチャンネル番号

自治会	矢畑	西久保	サニー タウン	ホーム タウン	アイラ ンズ	円蔵	浜之郷	下町屋	T B S
番号	1	15	10	17	3	20	30	5	7

④避難所生活での心構え説明会（ローテーション型）・・・地域住民、防災関係者

地域住民が避難所に避難した後、人数が集まり次第10～20人程度の単位で、順次避難所生活における心構え等を市配備職員が説明する。

⑤個別訓練（ローテーション型）・・・地域住民、防災関係者

避難所生活での心構え説明会が終了した後、30～60人程度の単位で、順次救助訓練、搬送訓練、応急手当訓練等を市消防団が指導する。

⑥終了・・・地域住民

地域住民は個別訓練終了次第帰宅とする。

## 1 1. 訓練結果評価方法

訓練結果の評価は各自治会にて次の指標で評価し、最終的には当地区まちぢから協議会としても評価する。

### 1) 防災訓練への参加率

防災訓練の参加率をつぎの数値で評価する。

- ①自治会に所属する全世帯数
- ②安否確認訓練参加世帯数
- ③世帯参加率 = 安否確認訓練参加世帯数 / 自治会に所属する全世帯数

・「安否確認訓練参加世帯数」とは、安否確認訓練において、「無事」または「被災」等の情報を各自治会防災対策本部に伝えた（表示、掲示も含む）世帯を訓練に「参加した」とする。

### 2) 避難行動要支援者の安否確認率

避難行動要支援者の安否確認率をつぎの数値で評価する。

- ①登録された避難行動要支援者数
- ②安否確認訓練中に安否確認した避難行動要支援者数
- ③避難行動要支援者の安否確認率  
= 安否確認訓練中に安否確認した避難行動要支援者数 / 登録された避難行動要支援者数

・「安否確認訓練中に安否確認した避難行動要支援者数」とは、安否確認訓練において、民生委員、防災リーダー、組長他の人によって自宅を訪問された避難行動要支援者数とする。訪問時面会したかどうかは問わない。

### 3) その他

つぎの訓練に問題がなかったかを検証する。

- ①安否確認訓練の一連の流れ
- ②地域住民の避難所への避難
- ③避難所関係者による避難所開設、避難者受け入れ
- ④トランシーバーによる情報伝達
- ⑤救助訓練等の個別訓練
- ⑥全体

## 1 2. おおよその訓練スケジュール

- |                     |                                                                           |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 8 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0 | ・災害発生（訓練開始）<br>・会場設営（各自治会防災対策本部、各避難所）<br>・安否確認訓練（各自治会にて安否確認結果集計、安否確認情報伝達） |
| 9 : 3 0 ~           | ・避難所運営訓練（避難者受け入れ、待機場所へ誘導）                                                 |
| 1 0 : 0 0 ~         | ・（待機場所にて説明会）避難所生活での心構え説明会                                                 |
| 1 0 : 3 0 ~         | ・個別訓練（救助・搬送・応急手当等）                                                        |
| ~ 1 1 : 3 0         | ・個別訓練終了次第、地域住民は順次帰宅                                                       |
| 1 1 : 3 0 ~         | ・総評（避難所担当自治会、防災関係者）<br>・後片付け                                              |
| 1 2 : 0 0           | ・帰宅                                                                       |

### 1 3. 関係機関への協力依頼事項まとめ

#### 1) 市防災対策課

##### ①避難所開設・運営指導

- ・避難所開設要領の指導

避難所解錠、施設安全点検、受付設置、避難者待機場所設置、簡易トイレ・パーティション等の設置、他必要な事項

- ・避難者が避難所に集まり次第「避難所生活の心構え」についてプレゼン（講話、備品の取扱い実演も含む。適当な人数ごとに何回か行う）

##### ②災害情報伝達訓練協力

- ・各自治会からの災害情報（今回は安否確認結果）を避難所の各自治会連絡員から受け取り

##### ③必要な資機材等

- ・災害対策地区防災拠点の本部設置
- ・必要な掲示物

#### 2) 市消防指導課？

##### ①災害発生時実技指導

- ・救助、搬送、応急手当、他

##### ②必要な資機材等

- ・実技指導に必要な資機材

#### 3) 訓練場所となる学校

##### ①場所の使用

- ・訓練計画に示したタイムスケジュールで体育館の使用

ただし、使用前後に余裕を持たせ、使用開始を当日 8：00、使用終了を当日 13：00とする。

##### ②必要な資機材

- ・机（受け用：避難自治会数×1台＋本部用×1台）
- ・椅子（受け用：避難自治会数×3脚＋本部用×3脚、避難者待機場所用：避難自治会数×10脚）
- ・ブルーシート（避難者待機場所着座用：5m×5m程度×避難自治会数＋1枚）
- ・うち履きスリッパ（避難者用：300足程度、※原則は避難者がうち履き持参とする）
- ・本部掲示板用ホワイトボード・マーカー・貼付けマグネット（1台）

##### ③申請方法

所定の申請書に必要な事項を記載し、学校長に提出する。訓練計画概要を添付し、必要なら説明する。

### 1 4. 各避難所担当自治会が準備する資機材

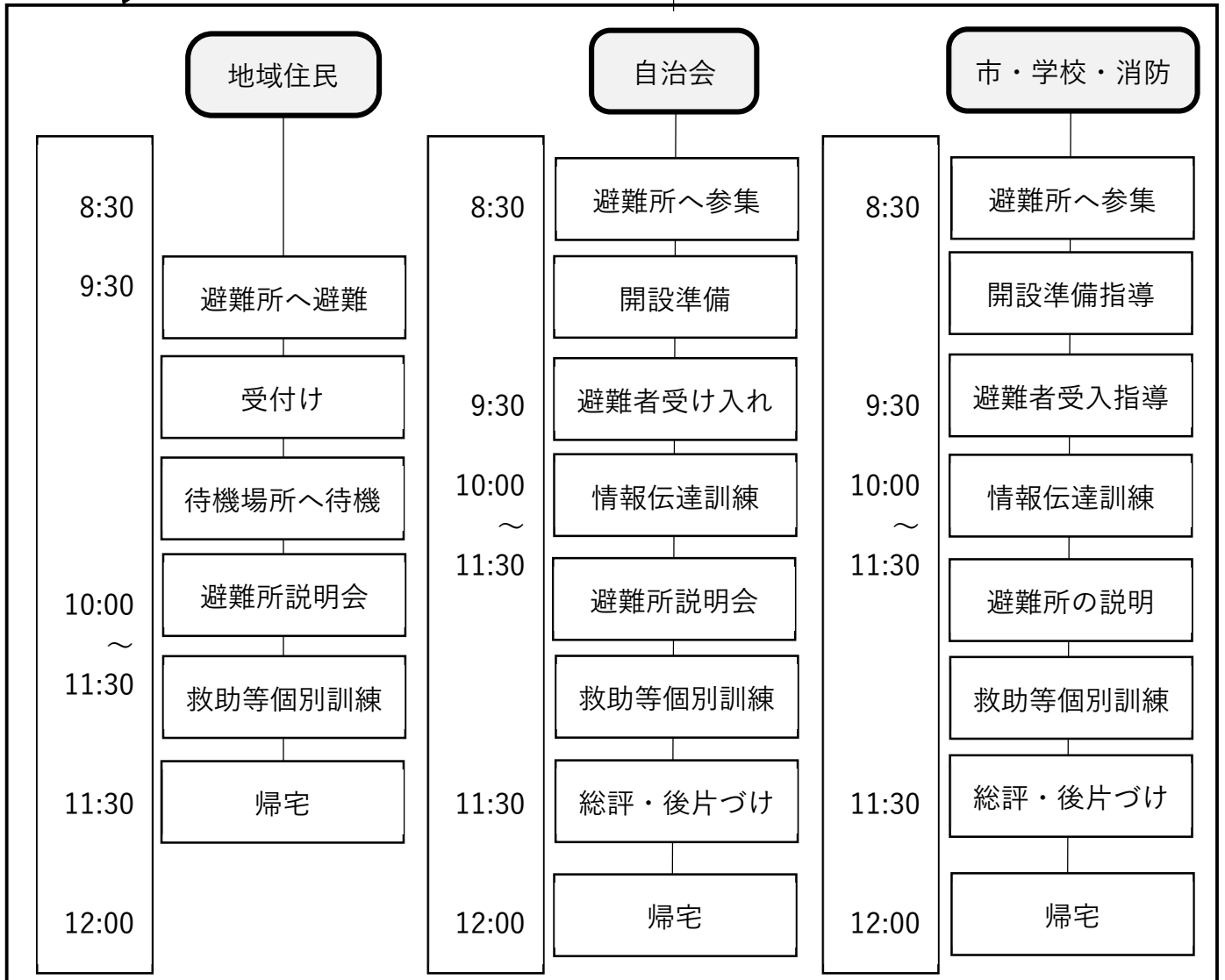
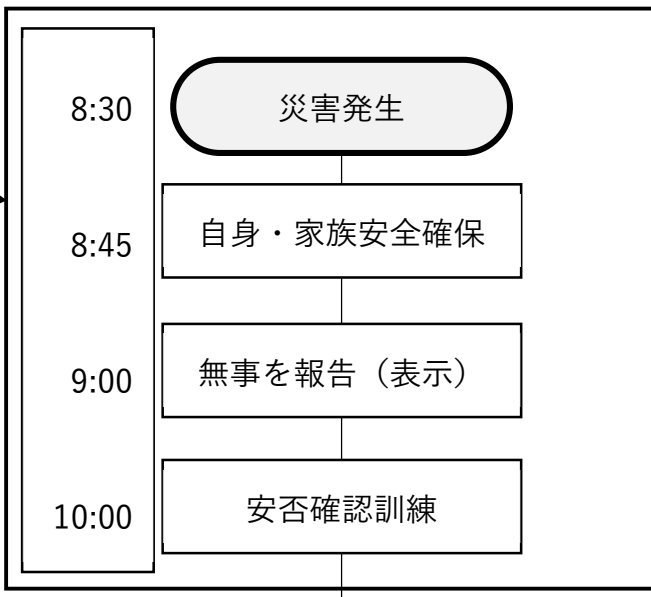
- ・避難者受付用自治会名表示（各自治会準備、受け机に〇〇自治会と記した紙を貼るなど）
- ・避難者受付用名簿用紙（統一様式があれば担当自治会が準備）
- ・筆記用具（各自治会準備）
- ・伝達訓練用トランシーバー（各自治会準備）
- ・避難者待機場所表示用プラカード（各自治会準備）

以上

# 合同防災訓練フロー

会場 (1)  
各自治会

会場 (2)  
避難所  
(学校)



# 合同防災訓練レイアウト参考図

